

学習状況診断票(社会) 中学校 第1学年  
1年 組 番 氏名

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点		
	大問	小問	通番		思考・判断	観察・資料活用・表現	知識・理解
地理的分野	1	1	1	緯線や経線について、地図上だけでなく地球儀を活用してとらえることで、極に近いほど経線の間かくがせまくなることを考え、判断することができる。			
		2	2	15度で1時間の時差ができる基本的な仕組みを活用し、明石市とニューヨークの時差を計算し求めることができる。			
		3	3	正距方位図法を活用して、地図の中心に位置している東京から最も近くに位置する都市を読み取ることができる。			
	2	1	4	岐阜県の工業についての特色を、グラフをもとに読み取り、考えることができる。			
		2	5	調査した数値を地図に表すことで、地域の特色を表現することができる。			
	3	1	6	八方位を用いて、ある地点から見た別の地点の方位を正しく理解している。			
		2	7	地図記号を読み取り、土地の利用状況を正しく理解している。			
		3	8	縮尺の意味を理解し、地形図上のある地点からある地点までの直線距離から実際の距離を地形図のスケールや定規などを用いて求めることができる。			
	4	1	9	等高線のきまりを活用して、ある地点の高さを求めることができる。			
		1	10	与えられた情報を手がかりとして、略地図に書き表すことができる。			
歴史的分野	5	1	11	年表を読み取る基本事項として、時代区分について理解している。			
		2	12	各時代の主な出来事や資料から、時代の特色をつかみ、時代の流れについて考え、判断することができる。			
		3	13	「世紀」について、正しく理解している。			
		4	14	時代の主な政策の中から、平安時代に藤原氏が実権をにぎるようになった理由について考え、判断することができる。			
		5	15	時代の特色を示すことから、資料(分国法)について、その内容を読み取ることができる。			
		6	16	奈良時代の特色を資料から読み取り、時代に関わった人々の生活の様子について考え、判断することができる。			
		7	17	モンゴル軍が襲来した博多について、地図上でその位置を正しく示すことができる。			
	6	1	18	各時代の様子を示す代表的な文化財を理解している。			
		2	19	桃山文化を代表する人物として、質素なわび茶の作法を完成させた千利休を理解している。			
	7	1	20	日明貿易の様子について、二つの資料から問題点と解決策を読み取り、二つの資料をかかわらせながら、適切に説明することができる。			
					/6	/8	/6

今後の学習に向けて 自分が頑張りたいところに を付けたり、下線を引いたりしましょう。

「思考・判断」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや資料から分かることをはっきりさせ、課題を解決するためにそれらをつないで考えるようにしましょう。</li> <li>・「できごとがおきた要因」や「その影響、社会の様子や変化」などを常に考えることを大切にしましょう。</li> <li>・家庭においては、学校で学習した内容をもとに、歴史の移り変わりから今の生活を見つめたり、さまざまな地域と身近な地域を比較したりして、自分が考えたことをまとめてみましょう。</li> </ul>
「観察・資料活用・表現」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や資料などを活用するときは、「タイトル」「単位や項目」「資料中の大事な言葉」「資料の中の人々の様子」などの視点から読み取るようにしましょう。</li> <li>・自分で略地図を書いてみたり、できごとと時代の特色を示す年表をつくったりすることに取り組んでみましょう。</li> <li>・家庭においては、ニュースや新聞等で見たたり聞いたたりした地名や歴史的なできごとを、地図や地球儀、年表等で調べて、その位置や意味を確認しましょう。また、外出する際、地図を活用して、目的地までのルートや距離を確認することに挑戦してみましょう。</li> </ul>
「知識・理解」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年表や時代の特色を示すカードなどをつくり、その時代の様子や、その時代を生きた人の姿などを明らかにして、歴史の大きな流れをつかんでいくように努力しましょう。</li> <li>・家庭においては、休日などに博物館や調べてみたい場所に行き、実物、具体物など多様な資料に親しんだり、その仕事にたずさわっている人とふれあったりしてみましょう。また、新聞記事やテレビの映像、インターネットなども活用し、興味・関心をもったテーマについて進んで調べてみましょう。</li> </ul>